

仲間や地域 思う気持ち

「明るい町づくり」標語表彰式



表彰を受けた皆さん

新宮市立少年相談センターによる、第32回「明るい町づくり」特選標語表彰式が2日、市福祉センターであり、市内の小・中・高校と紀宝町立矢渕中学校16校から特選に選ばれた16人(各校1作品)が表彰を受けた。

毎年この時期恒例。各学校で選考された87点の中から、特選として16点を選出した。今回、選ばれた標語には「笑顔」「あいさつ」「ありがとう」

和歌山県が行う観光客動態調査で、平成29年の宿泊・日帰り客数が確定した。宿泊516万6000人、前年比で11.1万

昨年は約3376万人

和歌山県の観光入込客数

00人、日帰り2859万3000人で、これらを合計した観光入込客総数は3375万9000人、前年比で11.1万

外国人宿泊客数を見ると、世界遺産エリアである那智勝浦町、田辺市、高野町で過去最高を記録したが、前年比4.9%減の約47万6000人にとどまった。外国人観光客数の約7割を占める主要アジア市場のうち、香

など、仲間を思いやったり、地域への思いをつづったりする言葉が多く含まれているのが特徴。表彰式には、受賞の児童・生徒のほか、保護者や教職員、同センターの補導員、協力委員らが出席。一人一人の作品が紹介されたあと、受賞者が登壇し、

外国人宿泊客数を見ると、世界遺産エリアである那智勝浦町、田辺市、高野町で過去最高を記録したが、前年比4.9%減の約47万6000人にとどまった。外国人観光客数の約7割を占める主要アジア市場のうち、香

平成30年度 第32回「明るい町づくり」特選標語

ありがとう みんながつながる 合い言葉
新宮市 優しさの「輪」で 守りたい
笑顔咲く 地域を明るく 僕らがヒーロー
「いらっしやい」 笑顔でむかえて くれるまち
いつだって みんなは君を 支えてくれる
夢は大きく 輪は広く それが我が町 新宮市
あいさつで 心の花だんに また一輪
あいさつで 笑顔満開 新宮市
助け合い 心つながる 仲間の輪
「おはよう」の 魔法の言葉で 笑顔咲く
「ありがとう」 イヤホンつけると 聞こえない
豊かな地 笑顔あふれる 新宮市
「ありがとう」 言えるあなたに ありがとう
無関心 無くせば優しく なるはず
顔合わせ スマホで愛は 伝わらない
人の輪を 広げる言葉 「ありがとう」

吉良 佳子	(神倉小6)
民部 優空	(王子ヶ浜小6)
新田 大翔	(三輪崎小6)
水口 風輪	(高田小6)
杉本 庵	(熊野川小5)
傳田 真夕	(緑丘中1年)
中嶋 奏愛	(城南中1)
仲 結愛	(光洋中2)
溝口 心	(高田中2)
大槻 湧山	(熊野川中3)
森下 晴斗	(近大新宮中1)
平嶋龍之介	(矢渕中3)
畑下 裕洸	(新宮高、全日制3)
辻 拓哉	(新宮高、定時制2)
松根 永祐	(新翔高3)
姫野 和真	(近大新宮高3)

特選標語と同市内の公民館や各学校などに1年間掲示し、児童や生徒、保護者、市民らに広く啓発することになっている。

(深瀬浩司)

市教育委員会の楠本秀一教育長から表彰状を受け取った。

楠本教育長は講評で「集中して考え、表現してくれた素晴らしい標語ばかり」とたたえ、ともに、「毎日、明るい学校生活を送ることができればいいが、言葉のいいめなどがあるのも事実。それを許していればもっと大きないいめにつながってしまう。みんなの標語が学校や地域に広がり、先生や友達みんながつながって、明るくいい学校生活を送ってほしい」と呼び掛けた。



平成30年(2018年)

7月4日

水曜日

先勝

今夜は特別な日：
結婚記念日

フナズ料理 イル・ド・フランス
新宮市市民会館横 0735-22-2365

発行所 紀南新聞社
〒647-0043
和歌山県新宮市緑ヶ丘 2丁目1番33号
購読に関するお問い合わせ
TEL0735-22-4646